

・かわまちづくり計画認定（国土交通省）

3月30日（月）

* まちづくりと一体となった河川整備
を推進するための支援制度認定



登録証授与



親水護岸・オープンカフェ

水辺の未来創造プロジェクトパネル展

（5/7～29 @国土交通省玄関横展示スペース）



国土交通省にて笛吹市のミズベリングの取り組みが紹介されました

・ミズベリング構想関係検討会議委員募集

4月6日（月）～

* ミズベリング構想の具体化に向け
10の検討会議の委員を募集！

* 10の検討会議

- ① ミズベリング構想検討会議
- ② インバウンド戦略検討会議
- ③ NTT用地活用策検討会議
- ④ 鵜の飼育・見学センター検討会議
- ⑤ イルミネーション検討会議
- ⑥ 市役所周辺活性化検討会議
- ⑦ キャンペーン・広報戦略検討会議
- ⑧ 温泉街活性化検討会議
- ⑨ 周辺観光・二次交通検討会議
- ⑩ 多様なツーリズム・ツアー造成検討会議

・NTT用地活用策アイデア募集開始 4月6日(月)～5月15日(金)

* 次ページのアイデアに沿った誘客施設(テーマ)を全国より公募により募集し、県内外の5社がプレゼンテーション 参加！



ミズベリング構想アイデア募集結果について

○募集内容

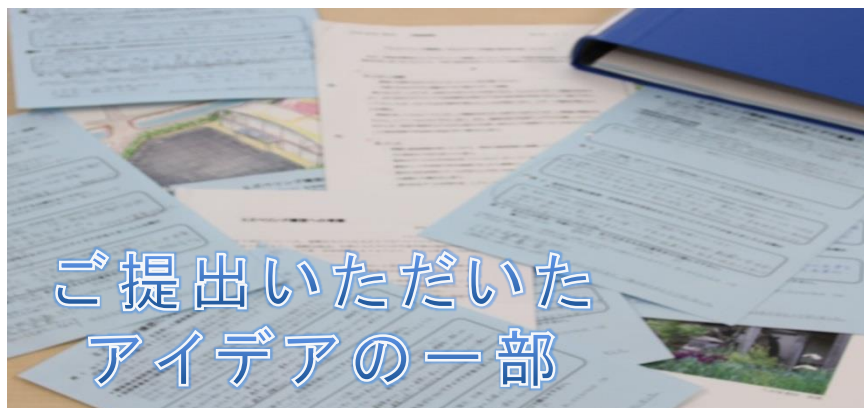
笛吹市ミズベリング構想（水辺を活用して地域振興を図ろうとする取り組みであり、笛吹市の玄関口である石和・春日居温泉の魅力を高め、活性化することにより笛吹市全体の産業振興を図ろうとするものです。）について、多くの市民の皆様のご意見を踏まえて検討を進めていきたいと考え、アイデアを募集した。

○募集期間、募集方法

平成27年4月6日～5月15日の期間、アイデア募集用紙をホームページに掲載するとともに全戸配布し、持参・郵送・FAX・Eメールにてご提出いただいた。

○提出者数 101

問1 NTT用地（Aゾーン）を活用した誘客拠点施設としてふさわしいテーマ（施設）に関するもの	問2 NTT用地（Bゾーン）の活用方法に関するもの	問3 笛吹市の観光振興・石和温泉の活性化などに関するもの
68	70	78



短期間の募集にもかかわらず、多くの皆様にご提出いただき心より感謝申し上げます。

ご提出いただいたアイデアについては、そのすべてに目を通させていただき、今後の事業推進にあたっての参考にさせていただきます。

問1 NTT用地(Aゾーン)を活用した誘客拠点施設としてふさわしいテーマ(施設)について

—商業関係—

- ・山梨県製品及び農産物のアウトレット店
- ・**食べ物博物館・地場産業カフェ**
- ・宿に着いても屋外で楽しめる所がない。〇〇通り(横丁)等の立ち寄れる場所
- ・**素晴らしい自然のテーマパーク(清流と花とフルーツをテーマに)**
- ・釣り博物館・大型免税店
- ・甲州ワイン街道石和宿とでも呼ぶ楽しい街を造りワインミュージアムを建設

—歴史・文化関係—

- ・**武将や民の生活や時代を紹介する博物館を誘致(忍者体験等も)**
- ・笛吹市観光歴史文化館(石和、春日居温泉の歴史等を写真、動画等で紹介。その他芸術、スポーツにおいて市にゆかりのある人物等も紹介)
- ・**フィギュア、CGIによる武田信玄を中心とした戦国時代の有名な合戦の展示、再現ミュージアム**
- ・芸妓文化継承施設(実演、稽古場)及び薪能舞台等、地域の文化・芸能及び体験型施設を

—自然・環境関係—

- ・熱帯植物園・各種自然エネルギーの展示運営

—娯楽関係—

- ・カジノ(IR:カジノを含む統合型リゾート)
- ・「キッズニア笛吹」を誘致(笛吹ならではの農業やワイン醸造、旅館業をメニューに)
- ・スパリゾートハワイアンズのような市民も楽しめて、観光客も楽しめる施設
- ・**子どもが楽しめる施設**(リニアミニカーなど)
- 健康関係—
- ・ウォーキング(ランニング)コース、足湯、市営プール
- ・周辺の温泉病院と提携してリハビリ等の健康目的での使用もできる温泉プール

—芸術・美術関係—

- ・大規模なコンサートホール・美術館
- ・**芸能関係の施設**

—スポーツ関係—

- ・室内スポーツ用体育館
- ・人工芝を敷いた天候に左右されない屋内施設

—その他—

- ・自然エネルギーを有効活用した県内随一の防災拠点
- ・桃の花でデザインしたホールに大きな桃の花を飾り、年間を通して桃源郷をアピールできる**温泉施設**
- ・アスレチック施設

問2 NTT用地(Bゾーン)の活用方法について

- ・朝市、軽トラ市(マルシェ)
- ・親子で楽しめる遊園地
- ・クラシックカーイベント
- ・石和夜市(参考、台湾の夜市)
- ・市内の商工業者が出展するフリーマーケットスペース
- ・グランドゴルフ場整備
- ・野球、サッカースタジアム(温泉シャワー完備)
- ・温泉を利用したプール施設
- ・笛吹市内観光ツアーの拠点施設(市内のあらゆる観光の発着点)
- ・笛吹市を縮小した地形の公園づくり(散策コース、サイクリングコース)
- ・笛吹「ワインづくり体験」等、体験販売施設
- ・日本らしい、錦鯉見学、日本庭園等のおもてなしエリア
- ・疎水を流し、小水力発電を設置
- ・キャンプ対応の大規模施設
- ・花の水辺公園(水中生物と遊べるエリアや年間楽しめる花木の植栽を)

問3 笛吹市の観光振興・石和温泉の活性化などについて

- ・石和温泉街で蛍が舞う環境作り
- ・国内市場が縮小していく中、海外市場に目を向け、外国語対応できる人材育成
- ・中高年が興味を示す観光物産拠点を早急に作り、県内の観光地に行く為の宿泊拠点を目指す
- ・遊休農地を使った農業体験
- ・若い世代(中高生)からのアイデアも募集したほうがいいと思う
- ・地元の食材を使った食の提案や周辺病院、宿泊施設と連携した保養型人間ドッグの開催
- ・花々の美的活用法、馬車での観光
- ・各ホテル、旅館の温泉施設を一定料金で楽しめるようにする
- ・水辺をきれいにする取り組みを
- ・大蔵経寺山の活用
- ・市所有の絵画等々、隠れた資源を活用してみても
- ・富士山を目当てに来る観光客の宿泊先として選んでもらえる観光資源開発が必要
- ・近津用水沿いを歴史と結びつけた宝飾品、特産品等の店舗、体験施設を誘致

・ミズベリング構想説明会開催

4月9日(木)～

* 区長会・地域審議会・民生委員・
赤十字など各種団体 (52回開催)

・ミズベリング構想関係検討会議開催

5月22日(金) ～

* 観光関係・学識経験者・一般公募など
による委員により10の検討会議ごとに
活性化について協議



①第1回ミズベリング構想検討会議概要

平成27年5月29日(金) 午前9時～ 委員23名出席

冒頭、市長あいさつでは、ミズベリングという言葉が市民の中に浸透している場所は、笛吹市が日本で一番であると考えている。ミズベリング構想推進にあたり市民協働によるまちづくりを進めてまいりたいと言った趣旨の挨拶がありました。

続いて委嘱状の交付・委員の紹介が行われ議事に移りました。

議事では、ミズベリングのイメージDVD映像・YBSで放送された笛吹市の「かわまちづくり計画」の取り組み映像などを委員の皆様に紹介させていただきました。

その後、初回の会議であるため各委員より一言ずつご意見を伺いました。

ミズベリング構想は、石和・春日居温泉郷及び笛吹市全体が活性化できる最後のチャンスであり、国・市・民間が一緒になって地域活性化のために取り組んでいただきたいという意見が大半であった。

その他の意見として、温泉と果実を結びつけ、市内全体に経済波及効果がもたらされるような事業をお願いしたい。河口湖など他の地域との連携も必要であると言った意見が出され閉会しました。

・誘客拠点施設事業者提案募集要項 公表（募集開始）

5月29日（金）～7月31日（金）

笛吹市石和温泉地域における誘客拠点施設整備・運営
に関する業務委託プロポーザル仕様書（抜粋）

1 業務の目的

笛吹市は、石和・春日居温泉地域の未整備地（石和町
松本1442-3他3筆25,000㎡のうち約5000㎡）の整備活用を
図り、この未整備地に誘客拠点施設を整備します。

また、誘客拠点施設整備及び周辺河川の利活用を検討
するミズベリング構想により、石和・春日居温泉地域の魅力
を高め、活性化することにより笛吹市全体の産業振興を図
ろうとするものであり、本市発展の起爆剤となる整備構想
です。

この業務は、2020年東京オリンピック・パラリンピックが
開催されることに伴い、多くの外国人客の来日が見込まれ
ることから、平成29年度中に開館し、新しい石和・春日居
温泉の魅力として全国及び海外へ向けてアピールできる
施設を民間事業者と連携し整備するものです。

・誘客拠点施設応募者5社によるプレゼン テーション及び事業者内定

8月21日（金）



バラ園を中心とした施設



遊園地を中心とした施設



日帰り温泉を中心とした施設



芸能人ミュージアムを中心とした施設



飲食・物販等を中心とした施設

・風林火山/MIFUNEミュージアム
広報特別号発行
9月6日(日)

・9月定例議会においてNTT用地
購入予算を審議
9月11日(火)

・NTT用地の活用について
用地周辺の地域住民説明会開催
9月26日(土)～

・ミズベリング構想市民説明会開催
10月8日(木)

・「かわまちづくり全国会議」の開催
2月16日(火)

場所：東京都港区発明会館ホール

全国の「かわまちづくり」に関係する自治体や市民団体が
参加し全国会議が開催されました。



市では、平成27年3月に登録した笛吹市「かわまちづくり」計画に基づき、イルミネーションやミズベリングツアーなどのソフト事業を中心に行ってきました。今年度は、笛吹川親水護岸整備の詳細設計や河川敷を活用したオープンカフェの実証実験、子どもの水辺安全教室などを行っていきます。

・「ミズベリングもてなし勉強会IN笛吹市」 の開催 2月23日(火)

後援:国土交通省甲府河川国道事務所

もてなしという観点からの地域整備「ホスピタリティ・ディベロップメント」という考え方と題し、東京大学地域資源計学研究室の堀繁教授に講演をいただきました



- ・「この観光地に来て下さい」といっても人はこない。
- ・「ここに行ってみたい!」と思わせるようなまちづくりが必要である。
- ・人がそこにいてみたいと思わせるには丁寧にもてなされていると感じられるかたち(ホスピタリティ表現)が大切である。
- ・若い女性が笑顔で写真をとるような場所ができれば、観光地としてのまちづくりは成功。